

避難所における入退所管理の効率化・リアルタイムな状況把握/分析により避難所運営を支援

シームレス避難所システム



システムの特徴

秋田県横手市提供

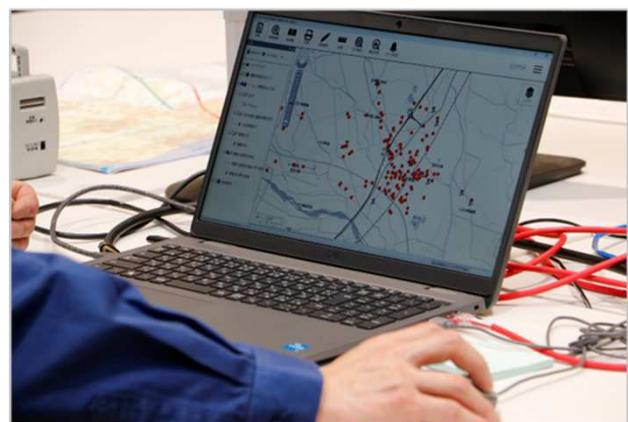
手書き・紙での台帳管理、電話等での避難所情報共有

デジタル技術を活用、災害対応を支援

避難所受付業務の効率化

地図による避難情報の可視化

データの出力・外部連携



秋田県横手市提供

01 | 避難対応におけるデジタル化

受付業務をデジタル化することで効率化
避難者情報をスムーズに収集・連携

02 | 避難状況をデータ化し、地図上へ可視化

避難状況を年齢・性別ごとに収集・データ化、
地図上に可視化することで最適な災害対応の判断材料に

03 | ご要望に応じたオプション

住宅地図閲覧、マイナンバーカードの読み取り

システムの機能

①避難者受付機能、②避難状況可視化機能、③管理機能、④オプション

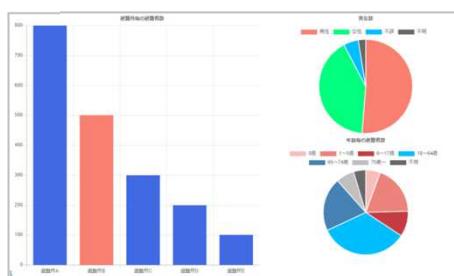


▲ 避難者受付・登録の様子（入所時の混雑・混乱の防止を意識した導線を形成）

秋田県北秋田市提供



◀ 避難状況をデータ化・地図上で可視化



システム利用の流れ

発災
初動対応

避難者入所

収束

避難所開設

- ・各種機器の設定・準備
- ・ログイン・動作等の確認
- ・受付用のQRコード印刷・掲示



避難所でのPCや通信は必須ではありません。
災害対策本部PCがあれば、そちらで集計ができます。

QRコードイメージ

避難所ごとに予め印刷・保管しておくと
発災時にすぐにご利用いただけます。

避難者入所

- ・避難者の入所受付
(避難者自身がスマホで入力
または職員が手入力)

受付画面イメージ

スマホでQRコードを読み取り、
WEBから避難者情報を入力。

※スマホを所持していない・
操作が難しいなどの場合は、
紙に記入後に職員が端末にて
代行入力いただけます。



災害対策本部にて、避難所の
収容状況や地図上で逃げ遅れ
のエリアが無いかなどを把握。

各避難所の状況が明確なため、
支援物資の最適な差配が可能



退所時は、職員または住民にて
退所処理が可能。
スマホを持っていない等の場合は、
職員が代行で入力可能。

オプションについて

背景地図を住宅地図へ変更

災害対策本部・避難所画面の背景地図を基本機能の広域地図・
道路地図・市街地図に加えて、オプションで住宅地図へと変更可能です



詳細な地図

- 建物名称・居住者名・番地など住宅地図の詳細な情報が閲覧可能

場所の特定

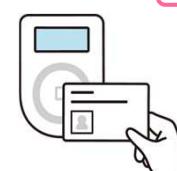
- 住宅地図をベースに、避難者の住所等をピンポイントで特定

※提供価格は個別見積となります。

マイナンバーカードの読み取り

マイナンバーカードから避難者の基本4情報取得します。
取得した情報と任意入力した避難者情報を基に、受付が可能です

ご利用イメージ



①マイナンバーカードをリーダーで読み取り、
避難者の情報を取得



②読み取った情報と、任意でその他の
避難者情報を入力して確認。
避難所へと受付を伝える
→避難受付完了

※提供価格は個別見積となります。